

保育おおさか

平成18年10月1日 第374号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

「疑問点」緊急勉強会 府会議員有志も出席して

大阪府は、認定こども園の認定基準が9月議会にて審議されることになっております。認定基準の内容については、パブリックコメントを受けても、7月31日の説明会と大きな変更はなく、9月議会に上程される模様です。

認定こども園

新たな問題点洗い出し

福祉に対する国の動向に大きな関心と疑問を持つ大阪府民間社会福祉施設振興議員連盟の勉強会を若林まさお会長をはじめ北川法夫議長も駆けつけていただき30人の先生方にご出席のもと、9月21日開催していただきました。

まず始めに、「障害者自立支援法と施設運営の経過について」現状と課題報告として報告があり、保育部会からは森田信司副部会長が「認定こども園について」として、次の3点について報告されました。①過疎が進む地方においては、二元化された制度が一元化されることにより、地域や行財政にとって有効な制度であります。しかし、都市

部においては、待機児童を抱える状況の中で幼稚園と保育所の役割については明確になされており、一元化されることには疑問が生じます。また、保育所の場合は他の施設より対象となる地域が狭いため、過度の競争原理が働くことは子どもの処遇低下や行き過ぎた教育に繋がりがかねないので、適正な配置や利用料の設定を望むものです。②大阪府下の保育所は、長時間保育や子育て支援センター事業、地域活動事業、障害児保育事業などの国の施策についても高水準で取り組んでおります。また、大阪府より地域子育て保育士事業を創設いただきました。国の施策に含まれない地域特有の事

業を展開したり、日祝日保育や乳幼児健康支援事業などにも事業展開する中で、大阪府下の保育園全園がそれぞれの地域に根ざした地域貢献活動にも取り組んでおります。

③認定こども園に認定された場合は、認可されている保育所の児童も直接契約になるが、運営費制度が維持される中、大阪府における他の補助金制度はもとより、各市町村の補助金制度についても現状維持を望むものです。この報告の中、それぞれの議員の先生方の真剣な眼差しと確認しながら聴いてくださる姿勢を見て、力強い思いを持ったのは保育部会の先生方皆さんだったと思います。

市町村の課題山積み

入所の申込を受けてから、保育に欠ける児童の認定に市町村はどれくらいの日数が必要となり、入所選考を何時なら出来るのか。こうした課題は、認定基準と同時に確定さ

このように認定基準については、国のガイドラインやQ&Aなどにも示されたように明確になってきました。しかし、まだまだ不明確な課題がたくさん残っています。まず、幼保連係型はそれぞれが認可であります、保育所型の幼稚園機能について、事業の位置づけが社会福祉事業に位置づけられるのか、別になるのか。また、会計が保育所会計の中の利用料として計上するのか、別の会計を設定するのか。別の会計の設定なら、資金の流用は可能なのか。このように実際に運営する場合、どのように運営するのかといった運営面の課題が、解決されていまいせん。また、直接契約になることによる補助金に影響はないのか。

次に「ガッチョの唐揚げ」。夏にボン酢で戴く白身の味は、カレイのそれよりも香ばしく実に絶品である。そして、もう一つは、岸和田名物「カシミン焼き」。カシミンとは、かしわ（鶏肉）のミンチのことであり、広島焼き風にメリケン粉は薄く、少しキャベツを敷き、鶏ミンチをのせて焼を、仕上げは、ソース・青のり・鰹節で戴く。ミンチといってもつくね（だんご）状ではなく、少し小さ目におつ切りしたものでありそのコリコリ感は、ビールに最適。是非ともご賞味あれ。

(K・G)



泉州引越 越して早いもので7年が経った。その土地、土地には名

幼保一体化施設

認定こども園

保育制度改革と今後について

認定こども園がスタートする。調査によると、10月実施を予定している都道府県は半数を優に超えているようである。当初「総合施設」の議論が始まった時には、保育園を中心にした子育て支援機能の充実に向け、保育園のさらなる多機能化に向けた議論から始まったことを記憶している。そして、これは「ハード（建物・設備）ではなくソフトの問題である」と当時の厚生労働省の担当課長は発言しており、保育所の将来像に夢と希望を与えるような印象すらあった。

この度の、認定こども園は、結果的に保育園と幼稚園を一体化したものに止まり、どちらかと言えば、幼稚園に敷居が低く、保育園には敷居の高い仕組みになってしまった。そして、現行の保育所機能と認定こども園の機能との違いを比較すると、「保育に欠ける要件」を満たすことが保育園利用の条件となっている部分のみであると言える。

今回、幼稚園は教育、保育園は保育と切り分けて整理されたが、幼児教育とは何か？保育とは何か？の基本的な議論もなく、単純に文科省と厚労省との縦割り行政の中で整理されてしまったようにさえ思われる。

われることが当然のこと、各保育園の保育実態を見ても非常に高いレベルの教育が行われていることがうかがわれる。従って、認定こども園と保育園の違いは、先程の一点に絞られると断言できよう。

にかなる施設に化けて幼保一体化の保育制度改革との運動も臭わせるようになってきた。

平成5年の「今後の保育所のあり方について」（これからの保育所懇談会の提言）や、同6年の「保育問題検討会報告書」等に始まり、その他経済

厚労省内部では既に、契約制度の導入及び直接補助方式への転換について、保育制度を維持する財源をどう確保するか、について、内々の議論が進められているようだ。そして財源問題では育児保険制度導入の支持者が多いとも言われている。

直接契約の導入については、認定こども園が契約制度となるため、その動向を踏まえて結論を出すこととなっており、18

このような状況から判断すると、保育制度改革は目の前に来ているし、認定こども園の動向は、保育制度改革との連動と

会の時で、契約制度の導入等を含めて一連の改革を進めようとしたが、当時は自衛防の猛反対によって断念したと言われている

民間の保育関係者の同意が得られずに断念したと言われている。

大波（保育制度改革） 小波（認定こども園）

駆け足 導入

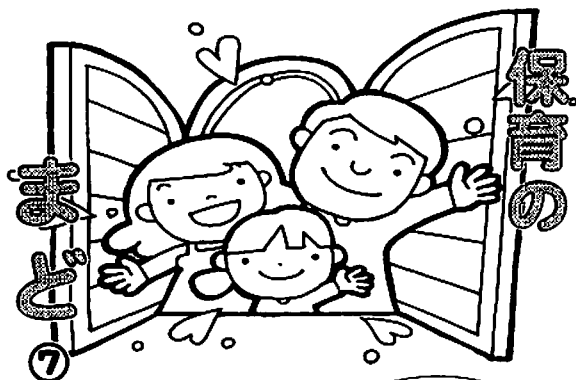
年度以降検討し20年度措置となっている。直接補助方式への転換も、ほぼ同時となっている。

認識すべきである。保育制度改革は2年度失敗したと言われている。一度目は、保育問題検討

る。次に、平成10年の児童福祉法改正時に制度改革を実現させる心積もりがあったようであるが、

また、公的介護保険制度の議論が始まったときには、保育制度改革が先か、公的介護保険制度の導入が先か、と言われていた事実もある。そして、

障害者自立支援法の施行等で介護保険と同様の改革が進められている。



「北摂ブロック」 摂津市

常に協力をして
います。
保育士の研修
会も社会の動向
を見据えながら
テーマを絞り、

います。これは森山一正
市長を中心に、「人間基
礎教育」という課題の基
に進められ「思いやり・
奉仕・感謝・あいさつ・
節約」からなり、人とし

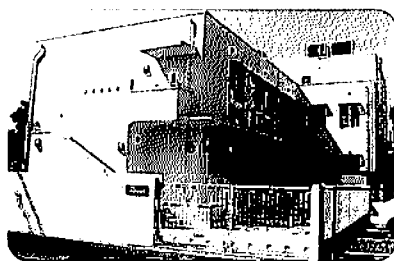
幼稚園など、公共の施設
にもこの課題は掲げられ
ています。市では「人間
基礎教育」についての体
験談を市民に募集したり
しています。

人間基礎教育の推進

公立保育所・学校・
推進していくこと
に決定しました。

市長は「人々の生き方
や価値観の多様化コミュ
ニティの弱体化権利と義
務のアンバランスが社会
に歪みをもたらしている
こと個人主義の肥大化に
よる個の主張の拡大が、
家庭や社会で大きな影響
を及ぼしていること」を、
しばしば取り上げられて
います。また、人として
のルールを守れない人が
増えていることを懸念し
ます。人としてのルール
を守れずに他人の人権を
守れるはずがありません。

人権と人間基礎教育は、
車の両輪であり、両者が
うまく機能することによっ
て、地域社会の人材が育
成され、まちづくりにも
つながります。
子どもを囲む全ての大
人が手を取り合う必要が
あり家族や仲間、地域で
人間観を磨くことが次世
代のためにもなり人間基
礎教育を推進し、保育園
の価値も高め、身近な地
域コミュニティとしての
地域貢献を果していきた
いと思います。 M・H

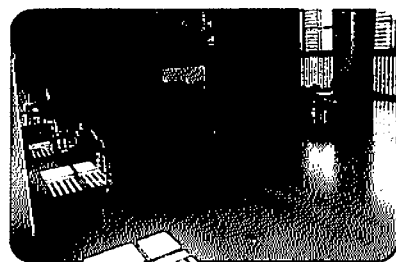


(ステキな園舎)



私たちの園は、老朽園
舎ではなく、開園5年目
の園でしたが、周辺地域
の待機児が多いというこ
とで、市からの強い要請
もあり、定員60人規模の
園舎を一気に120人の
園舎への増改築をおこな
い、平成18年4月に新た
にスタートしました。
既存園舎で保育しながら
隣で新園舎増築をおこ
ない、平行して既存園舎
の改築をおこなうという
大変な難工事でしたが、
保護者の温かいご理解と
設計者及び工事関係者の
厚いご協力により、7か
月という短期間で見事に

竣工する事ができました。
増築園舎の建設では、
お昼寝の時間帯は騒音や
振動の出ない工事をして
いただくなどの配慮をお
こないました。既存園舎
の改築では調理室の拡張
改造工事が厚いコンクリー



(ゆったり空間)

トの床下土間や構造壁の
撤去を伴うため、騒音・
振動を考慮し、年末年始
の休日返上で工事をおこ
ない、調理は近所でおこ
ない、搬入するなど最も
その対応に苦慮したところ
でした。玄関の拡張工
事では期間中非常口や掃
きだし窓を仮玄関にした
り、2階既存保育室の4
室から3室への改造工事
は最終工程とし、期間中
は完成したばかりの新増
築保育室を壁や腰を子ど
もたちが傷つけないよう
養生して、一時的に合同
で使用するなど、綿密な
工事工程管理と保育計画



(お花いっぱい)

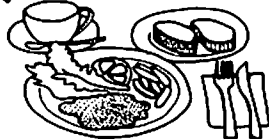
の組み合わせ、そして保
護者の皆さんのご協力に
より、網渡りのようなハ
ラハドキドキの中で建
設工事と保育を共存させ
安全に全うする事ができ
ました。
この間何よりの救いは、

園児たちがくるくる変わ
る保育環境の変化の中で、
いつもと変わらず明るく
のびのびと楽しく園生活
を送ってくれた事です。
本年4月、120人定
員の保育園としての新し
い出発に当たっては、園
児の約60%は集団生活が
初めての子どもたちで、
保育士も約40%が新入と
いう中で保育も大変で
したが今では落ち着き、
職員一同地域に貢献でき、
地域から信頼され、未来
を担う子どもたちが明る
くのびのびと育つ保育を
一層推進したいと張りきっ
ています。

ブロッコだより



北大阪ブロッコ



職員研修会

友人・知人の結婚式やパーティに出席する機会が多くなる職員のために「社会人のテーブルマナー」が8月24日ホテルニューオータニで夏の恒例行事としておこなわれました。夕刻から始まることもあり、参加しやすく人気のある研修です。

今年も82か園計141人の参加があり、申込みが遅れて参加できなかった職員もありました。

講師はホテルニューオータニ大阪の清原真マネージャーが担当され、ひか

えめであるがポイントを押さえ即、戦力に適したマナーやルールが活かされ食糧、和食や中華料理にと広げたマナーを親しみのある話術で教えていただきました。また各テーブル全員が保育園で働く同志として共通の話題も多く飲談の輪も拡がり、おいしく料理を味わいつつ楽しく有意義なひとときをすごしました。

(東大阪市)

河内ブロッコ

一泊管外研修会

9月6日・7日

森大社協事務局長や常務理事を歴任され、大阪の民間福祉の発展に多大の貢献をされた(故)井上光さん(故人)が亡くなり、なつてもう九6年。

このほど七回忌を迎えるに当り、去る9月5日に、有志の方々の呼びかけにより「井上さんを偲ぶ会」が催されました。

井上光さんといえば、温厚かつ人間味溢れるお人柄で、今の保育部会の方々にも若い頃より本当に親切に色々ご指導いただいたことが昨日のように思い出されます。偉大な先輩が築いてくれた基盤に立つて我々も大阪の民間福祉の更なる発展に微力を傾注しなければ、思いを新たに次第です。

保育園をたずねて

343

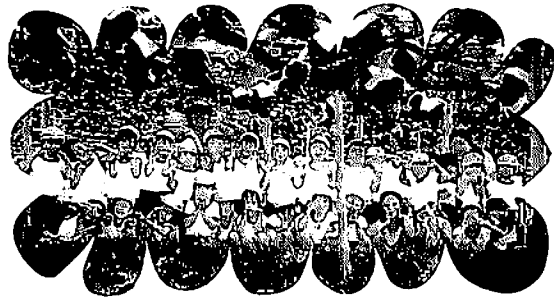
柏原市

まどか保育園

にしています。

創立28年目のまどか保育園。アットホームな楽しい雰囲気の中で子どもたちは、いきいき、のびのび成長し、活気に充ちあふれています。

ぶどうの産地なので0・1・5歳の散歩コースは自然環境に恵まれています。自然とふれあい季節を感じ元気に帰ってきます。園の理念「健全育成」を実現し、コミュニケーションと信頼関係を大切に



園では音楽(器楽合奏、鼓笛演奏)活動に力を入れ、その効果は大きい(豊かな感性を養う、礼儀、集中力、協調性を身につける)です。

これからも保育環境をさらに整え、地域に根ざす安心と信頼子育て支援コミュニティとして、また園児の個性が光る、喜ばれる保育園でありたいと思っています。

倉敷市水島の社会福祉法人光明会小ざくら保育園の施設見学に22人の参加で9月6日・7日おこなわれました。

初日行程の山陽自動車道で事故渋滞のため1時間ほど遅れ、宿泊宿に。

2日目は施設見学の小ざくら保育園に到着。財前理事長や職員の方に出迎えていただき、ホールで施設の概要を説明後、施設見学に。

50年前、障害を持つ子

を抱え働くこともできず途方にくれる母との出会いがスタート。

現在保育・障害・地域支援の三部門で11か所の事業を運営されている。

「いつでも・だれでも・どこへでも・どんなことでも共に育ち共に生きる」

組織の理念を明確に示され、福祉の流れが大きく変わり地域福祉へと転換していく中で、行政や他機関地域住民とネットワークを形成されている

こと、理念を通して見えてくるものは、乳幼児やハンディキャップを持った人たちが、地域社会で安心して生活できるように支援していくことにあるとのことで「誰もがいつでも安心して利用できる福祉サービスの提供とその質の向上」の実現に各事業所の連携がより求められるとのことでした。

発行所
大阪市中央区中津1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
永 野 集
水 崎